

# 競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法      2022年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. アスリートビブス      個人アスリートビブス（ナバカード）（男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍競技は胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手（リレーの1～3走者を除く）は全員腰ナンバー（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。
3. 招                  集      ○招集完了時刻は、トラック競技は20分前、走高跳・走幅跳・砲丸投の予選は40分前、決勝は30分前、棒高跳は予選・決勝ともに100分前とする。混成競技のフィールド種目は30分前とする。  
○競技者は招集完了時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。  
○競技場に入場できる時刻は招集完了時刻の20分前からとする。  
○他の種目と競技時刻が重なる場合には、最初の種目の招集時に招集所の審判にその旨を告げておくこと。  
○招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。  
○招集所は雨天走路（100mスタート付近）とする。  
○四種競技の2種目目以降の種目の招集も招集所で行う。
4. 練                  習                  場      ウォームアップ場は補助競技場のみとする。（ウォームアップ場使用上の注意 参照）
5. 使                  用                  器                  具      器具は本部で用意したものを使用すること。ただし、棒高跳のポールは各自のものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
6. 競                  技                  順      予選はプログラム掲載順とし、決勝のレーン順は抽選による。
7. オーダー用紙      リレーに出場するチームは、予選については、事前に配布されたオーダー用紙に記入し、大会1日目の12:00までに招集所に提出すること。AB決勝については、オーダー用紙を招集所で受け取り、大会2日目の12:00までに招集所に提出すること。提出後の選手変更については、招集完了時刻の1時間前までに招集所を通して審判長へ申し出ること。それ以降の変更については、主催者が任命した医務員の判断がなければ認められない。
8. トラック競技      ○不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。  
○トラック種目の予選はタイムレースとする。100m, 200m, 400m, 800m, 100mH, 110mH, 4×100mRは予選ラウンドで上位8名（8チーム）の競技者がA決勝に、A決勝進出競技者を除いた上位8名（8チーム）の競技者がB決勝に進出するものとする。AB決勝進出者に辞退者が出ても、繰り上げは行わない。1500mは15名で行う。  
○B決勝の記録がA決勝の記録を上回っても、順位の入替えは行わない。表彰の対象となるのは、A決勝のみである。  
○男子1年1500m、女子1年800m、男子共通3000mはタイムレース決勝とする。  
○予選から決勝へと進出者を決めるときに、同記録者があるときは、0.001秒まで判定して進出者を決める。それでも決められない場合、レーンに余裕がある時には、同記録者全員が決勝に進めるようにする。それが不可能な時は、抽選とする。なお、該当者は、通告後5分以内本部席前に集合しない場合は失格とする。  
○短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。  
○リレーのユニフォームは上下とも同一色を基本とする。
9. フィールド競技      ○走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投は予選を行う。予選通過記録は、走高跳は男子1m85、女子1m60、男子棒高跳は4m00、走幅跳は男子6m55、女子5m45、砲丸投は男子13m00、女子12m50とする。1年男女走幅跳の予選は行わない。

- 共通走幅跳男女1組はメインスタンド側、2組はトラック側のピットで行う。
- 1年走幅跳は、男子はメインスタンド側、女子はトラック側のピットで行う。
- 砲丸投男女1組は既存ピット、2組はバックスタンド側芝生ピットで行う。
- 予選通過記録突破者が12名に満たない場合は、予選12位までの者で決勝を行う。

|            |          |                         |     |     |     |     |     |        |        |          |        |     |  |
|------------|----------|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|--------|----------|--------|-----|--|
| 10. バーの上げ方 | 男子走高跳予選  | 150                     | 155 | 160 | 165 | 170 | 175 | 180    | 185    |          |        |     |  |
|            | 男子走高跳決勝  | 165                     | 170 | 175 | 180 | 185 | 188 | 以後 3cm |        |          |        |     |  |
|            | 男子棒高跳予選  | 220                     | 240 | 260 | 280 | 300 | 320 | 340    | 360    | 380      | 390    | 400 |  |
|            | 男子棒高跳決勝  | 260                     | 280 | 300 | 320 | 340 | 360 | 380    | 390    | 以後 10 cm |        |     |  |
|            | 男子四種走高跳  | 135                     | 140 | 145 | 150 | 155 | 160 | 165    | 170    | 173      | 以後 3cm |     |  |
|            | 女子走高跳予選  | 130                     | 135 | 140 | 145 | 150 | 155 | 160    |        |          |        |     |  |
|            | 女子走高跳決勝  | 140                     | 145 | 150 | 155 | 160 | 163 | 以後 3cm |        |          |        |     |  |
|            | 女子四種走高跳  | 115                     | 120 | 125 | 130 | 135 | 140 | 143    | 以後 3cm |          |        |     |  |
|            | OP 女子棒高跳 | 当日決定する<br>(当日変更する場合もある) |     |     |     |     |     |        |        |          |        |     |  |

11. ス パ イ ク      トラック種目・走幅跳・棒高跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。

12. シ ュ ー ズ      靴底の最大の厚さについては、以下のようにする。  
800m未満のトラック種目・フィールド種目    20mmまで  
800m以上のトラック種目    25mmまで

13. 表                      彰      ○各種目の1～3位に賞状とメダル、4～8位に賞状を授与する。  
○入賞者は競技終了後、係員の指示に従い、表彰場所に移動し待機する。  
なお、100mの表彰は2日目の8：30より行う。

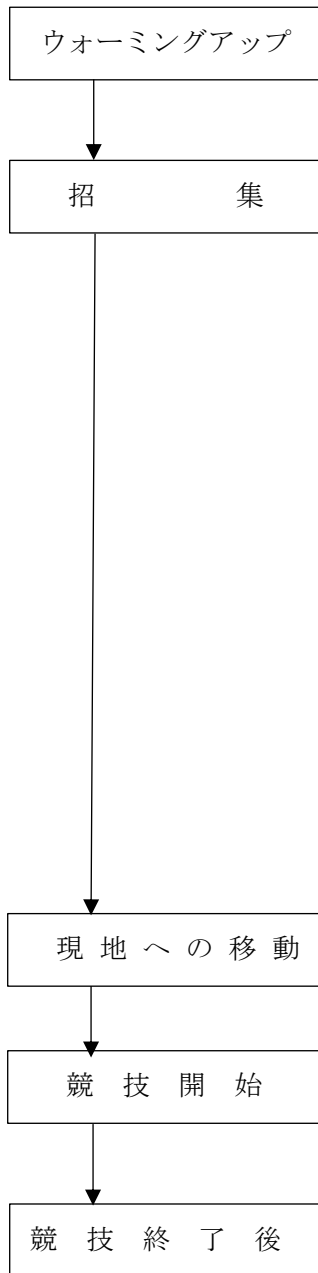
14. そ の 他      ○本大会は、関東大会の第一次予選会とする。  
○本大会で全国大会参加標準記録か下記の指定種目記録を突破した各種目優勝者は、関東大会の参加資格を得る。

|    |               |                   |             |               |
|----|---------------|-------------------|-------------|---------------|
| 男子 | 1年100m(12"10) | 1年1500m (4'30"00) | 1年走幅跳(5m70) | 2年100m(11"54) |
| 女子 | 1年100m(13"14) | 1年800m (2'20"00)  | 1年走幅跳(4m90) | 2年100m(12"74) |

- 本大会の男女リレーで3位以内の学校は、県総体への出場権を得る。
- 当日の選手変更は一切認めない。
- 当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。
- 競技する選手・補助員以外は、トラック・フィールド内に立ち入ることはできない。
- 大会中はアスリートビブスをADカードの代わりとする。
- ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
- 応援横幕はスタンド上段に、のぼりはメインスタンド最上段に設置すること。ただし、保護者観覧席への設置は禁止とする。
- テントはメインスタンド、バックスタンドともに上段に設置すること。サイドスタンドは、通路より上に設置すること。
- ウォームアップ場には、設置してある用器具以外、持ち込まないこと（ただし、ピストル・バトンを除く）。投げる行為は禁止とする。
- 飛沫感染防止のため、声を出しての応援は行わない。
- 中学生は携帯電話等の電子通信機器を競技場内では原則として使用しないこと。
- トランシーバーを使用する場合、本部で使用する7・8・9・10チャンネルの使用を禁止する。
- 熱中症予防のため、選手は適宜水分補給を行うなどの体調管理に気を付けること。  
なお、競技前に具合が悪くなった生徒は、近くの審判員に声をかけ、指示を仰ぐこと。
- 待機する生徒についてもこまめに水分を取り、日陰に入るなどして適宜休憩をとること。なお、具合が悪くなった生徒は、近くの審判員に声をかけ、指示を仰ぐこと。

# 選 手 注 意 事 項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。なお、四種競技とリレーに出場する選手は下の注意事項も守って下さい。



- ・補助競技場を使用すること。（7時開場）
- ・ウォームアップ場使用上の注意を確認すること。
- ・総合案内で個人受付を行い、健康状態申告書の提出を1次招集とする
- ・競技場入場口（100mスタート後方）から競技場に入り、招集所で招集を行う。
- ・招集完了時刻の10分前から招集を行う。招集完了時刻の20分前から競技場に入場可能とする。
- ・プログラム記載順に呼名されるので、アスリートビブス、競技に使用するシューズ、カバンの商標等の確認を受ける。  
※規定の大きさ以上の商標の入ったものは、競技場内に持ち込めない。
- ・トラック競技に出場する選手（リレーの1～3走は除く）は、腰ナンバーカードを受け取り、速やかに右腰斜め後方につけること。なお、腰ナンバーカードはレース終了後必ず返却すること。
- ・競技役員が指定した場所に荷物を置く。その際、荷物の紛失を防ぐため、選手一人につき一つの大きめのビニール袋等を、またはバックをまとめられるようにする。
- ・スタート地点や競技が行われる地点に競技者係の指示に従って移動する。
- ・出発の審判員の指示に従う。
- ・競技終了後は速やかに荷物をまとめ、指定の場所から退場する。
- ・手洗い、洗顔を行うようにする。

## 注意 1 リレーについて

- ・招集は全走者とも招集所で行う。
- ・リレーはユニフォームの同一色であることの確認を受ける。
- ・オーダー用紙を12:00までに招集所に提出すること。提出後の選手変更については、招集完了時刻の1時間前までに招集所を通して審判長へ申し出ること。それ以降の変更については、主催者が任命した医務員の判断がなければ認められない。

## 注意 2 四種競技について

- ・招集は他の種目と同様、上記の通り行う。